

解放男性邦人拉致

イエメンで8日ぶり

現地日本大使館が確認

【サヌア＝内田康】イエメンの首都サヌア近郊アルハブで起きた日本人技術者拉致事件で、同国の日本大使館は二十三日夜（日本時間二十四日未明）、拘束されていた真下武男さん（六三）＝東京都板橋区＝が八日ぶりに解放されたことを確認した。

真下さんは、犯人側から身柄を引き受けた仲介役の地元部族長らとともに拘束されていたアルハブを離れ、サヌアに到着。しっかりした足取りで車を降りると、イエメン政府や日本大使館関係者に迎えられた。報道陣には「無事解放されました。ありがとうございます」と、解放の喜びを語った。

真下さんは東京都のコンサルタント会社、毛利建築設計事務所に勤務。国際協力機構（JICA）のイエメンでの教育支援プロジェクトの一環として学校建設に従事していた。今月十五日にアルハブの小学校建設現場に車で向かう途中、武装した男たちに止められ、拉致された。



23日、イエメンの首都サヌアで解放を喜ぶ真下武男さん（左）＝内田康撮影

2009年11月24日発行